

2006年5月2日

JVC パレスチナ事業プレスリリース

パレスチナ・ガザ地区の経済危機に伴い、子どもの栄養状態が著しく悪化。

JVCは栄養失調の母子への食糧支援を開始しました

援助凍結、封鎖による経済危機

パレスチナでは、ハマス政権発足に伴い、イスラエルが代理徴収する関税の自治政府への送金を凍結し、米国とEUも自治政府への直接支援停止を決定するなどしています。このため3月以降、パレスチナ自治政府職員の給料は支払われておらず、すでに壊滅状況にあったパレスチナ住民の経済状況はさらに悪化しています。

またガザ地区では、今年の1月からイスラエルによる物流検問所の封鎖が続いています。物資の不足により物価は高騰し、小麦、砂糖、米等、輸入に頼っている食糧の価格が著しく上昇しました。

栄養失調児と母親へ野菜や果物を

JVCではガザ地区の幼稚園において栄養改善支援を行っていますが、支援している幼稚園では、特に2月以降に月謝が払えない子どもが増えています。また、現在、朝食を取ってから幼稚園に来る子どもは全体の約1割しかおらず、幼稚園に食糧援助を頼みに来る親もいる状況です。

この事態を受け、JVCではガザ地区において、現地で子ども達の栄養改善に取り組むNGOと協力し、以下の通り緊急的な栄養支援を行うことになりました。ぜひご支援のほど、ご協力お願い申し上げます。

募金の振込先：郵便振込口座 00190-9-27495 (JVC 東京事務所)
(パレスチナ・ガザ緊急支援と明記してください)

<< ガザ地区栄養失調児への栄養支援 概要 >>

【内容】栄養失調児と母親に対する栄養食の提供および栄養指導

【期間】3ヶ月（2006年5～7月）

【対象地域】パレスチナ・ガザ地区

【対象者】子どもの栄養を専門とするNGO「人間の大地」のセンターに来る栄養失調児と母親 1日約50人、1ヶ月延1,250人

子ども達の栄養改善に取り組む現地 NGO 「人間の大地」のセンターでは、特に 4 月以降来所者が増えている。ほとんど全員、朝食を取れずに来所しているので、栄養失調児だけでなく、同伴している母親や兄弟にも食事を出す必要が出ている。対象者の増加により、センターでは十分な食材の予算が不足している。JVC は、センターで提供する栄養食を支援

すると同時に、母親たちが安い食材で栄養価の高い食事を作れるよう指導できる職員や、母子が来所できるよう交通費の補助も合わせて支援する。

【支援の内訳】

食材 50 人分 （野菜、果物、肉、植物油、乾燥ナツメヤシ）

食材は、物流封鎖に影響されるものは基本的には用いず、ガザ内で調達できる季節の安価な野菜と果物を中心とする。

保健・栄養指導員の人件費

母子が栄養センターに通うための交通費

【支援総額】4000 ドル（約 46 万円相当）

<参考資料>

物価の高騰（昨年の同時期との比較）

砂糖 (1kg)	2NIS	6NIS
粉 (50kg)	70NIS	130NIS
米 (1kg)	2-3NIS	5NIS
ひよこ豆(1kg)	4NIS	6NIS
油(1L)	5NIS	8NIS
牛肉(1kg)	32NIS	40-45NIS
ガス(小タンク)	35NIS	47NIS